

【大要】

平成26年9月定例会会議録

(平成26年9月26日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 9月定例会会議録

- 【開催日】 平成26年9月26日（金）
- 【場所】 八代市役所 3階31号会議室
- 【出席委員】 高浪 智之 委員長
澤村 勝士 委員
小嶋 ひろみ 委員
倉野 敏郎 委員
広崎 史子 教育長
- 【出席職員】 北岡 博 教育部長
中田 正春 教育部次長
増住 眞也 教育部次長
塚副 徹 教育部首席審議員兼学校教育課長
高嶋 宏幸 学校教育課長補佐兼教育サポートセンター副所長
桑田 謙治 教育総務課長
有馬 健一 教育施設課長
宮崎 和喜 生涯学習課長
樋口 昭彦 教育サポートセンター所長
濱田 大祐 図書館館長
福原 透 博物館未来の森ミュージアム副館長
- 【事務局】 丸山 尊司 教育総務課長補佐兼総務係長
相澤 由美子 教育総務課総務係主任
北田 優子 教育総務課総務係参事
- 【審議事項】 <議事案件>
・八代市教育委員会委員長職務代理者の指定について
・八市教委議第38号 教育に関する事務執行状況の点検・評価報告書について
- <報告案件>
・報告第12号 臨時代理報告・熊本県八代市立学校管理規則の一部改正について
・報告第13号 八代市教育委員会が設置する文書配布箱の使用に関する基本方針の策定について
・報告第14号 平成26年度9月補正予算の概要について
・報告第15号 八代市議会平成26年9月定例会一般質問要旨及び答弁について

(午前9時58分開会)

【発言要旨】

- 委員長 「開会宣言」
- 委員長 「前回会議録の承認」
- [採決] 承認
- 委員長 「会議録署名委員の指名」
倉野委員、小嶋委員を指名する。
- 委員長 「八代市教育委員会委員長職務代理者の指定について」は、委員長職務代理者の指定という委員の人選に関する事で、委員の自由な発言を行う趣旨から秘密会にしてはどうかと思うが、いかがか。
- 委員一同 異議なし。
- 高浪委員長 同意が全員あったものと理解し、本件は会議規則第7条の規定により秘密会とする。
- <教育部首席審議員兼学校教育課長、学校教育課長補佐兼教育サポートセンター副所長、教育施設課長、生涯学習課長、教育サポートセンター所長、図書館館長、博物館未来の森ミュージアム副館長 退席>
- 委員長 「八代市教育委員会委員長職務代理者の指定について」
- <会議内容は、秘密会につき省略する。>
- <委員長職務代理者に倉野敏郎委員を指定。>
- <教育部首席審議員兼学校教育課長、学校教育課長補佐兼教育サポートセンター副所長、教育施設課長、生涯学習課長、教育サポートセンター所長、図書館館長、博物館未来の森ミュージアム副館長 復席>
- 委員長 「八市教委議第38号 教育に関する事務執行状況の点検・評価報告書について」
- 教育総務課長 (「八市教委議第38号 教育に関する事務執行状況の点検・評価報告書について」説明)
- 委員長 質疑・意見等を求める。

委員長

執行状況の点検評価について議論をするわけだが、一年間を通じて改善した方がいいのではないかとすることがあるので、皆さんと一緒に智恵を出し合って、よりよい八代市教育委員会が進んでいくよう議論を深めて行きたい。

地教行法第26条第2項に、教育長に委任することなく合議制の執行機関である教育委員会自らが行わなければならないこととして、1番目に教育に関する基本的な方針の策定、2番目に教育委員会規則等の制定改廃、3番目に教育機関の設置廃止、問題なのはここから以下だが、教育委員会事務局および学校その他の教育機関の職員の人事、5番目の教育委員会の活動の点検評価、6番目に予算等に関する意見の申し出、の3つについて申すべき事項が生じている。

まず、教育委員会事務局および学校その他の教育機関の職員の人事については、特に県費負担教職員の同一市町村内転任については市町村教育委員会の内申に基づき都道府県教育委員会が任命を行うというふうになっている。県費負担教職員の人事を含む監督者としての意見を反映させるためだが、あくまでも任命は県の教育委員会だが市町村の教育委員会の内申に基づきというところが平成20年4月1日法施行の内容である。

それから、教育委員会の活動点検評価は、八代市が行う主要事業施策の内容を活用しているが、学識経験者による知見の活用というのがなされていない。教育委員、教育長、事務局、あるいは学校現場の先生が関わることなく、全く外部から内容を評価するという仕組みを執行するようになっており、今後検討を進めていきたい。

それから、予算等に関する意見の申し出について、ある予算の執行時期になってから、執行する団体側に中止の申し入れをしたことは、議会に対する甚だしい軽視ではないか。決算委員会では予算要求の時点ではわからなかったのかと言われるようなことである。これは、事前に文教福祉委員長に事情を説明しておくべきではないか。

また、去年の11月か12月に行われた生涯学習課、学校教育課、教育サポートセンターの主催事業について、教育委員に出された案内状の来なくても来てもいいというような文章はもうちょっと工夫をしたらどうか。

これらについて、次の定例委員会、あるいは時間がとれるのであれば今日の定例委員会後に、以上の3課及び教育総務課の4課と教育委員との協議を進め、年内には終わるようにしていきたい。

委員長

[採決] 承認

- 委員長 「報告第12号 臨時代理報告・熊本県八代市立学校管理規則の一部改正について」
- 教育部首席審議員
兼学校教育課長 「報告第12号 臨時代理報告・熊本県八代市立学校管理規則の一部改正について」説明)
- 委員長 質疑・意見等を求める。
(質疑・意見等なし)
- 委員長 「報告第13号 八代市教育委員会が設置する文書配布箱の使用に関する基本方針の策定について」
- 教育総務課長 「報告第13号 八代市教育委員会が設置する文書配布箱の使用に関する基本方針の策定について」説明)
- 委員長 質疑・意見等を求める。
- 委員長 前にもそれなりの決まりがあったと思うが、その書類の保存の問題として、庶務関係綴など3年とか5年であれば、また6年後、10年後にはこういうことを考えなければならないので、永久に書類をとっておくような綴に保存した方がいいと思う。
- 倉野委員 文書配布箱は、いつ、誰もがそれを持ち出すことができるような状況になっていると思うが、どこの誰がいつ文書を受け取ったというチェックはなされているのか。そういう対策は考えなくていいのか。
- 教育総務課長 文書配布箱は執務場所の外にあることから、そのような記録も必要かなと考えており、今後検討したい。
- 委員長 「報告第14号 平成26年度9月補正予算の概要について」
- 増住教育部次長 「報告第14号 平成26年度9月補正予算の概要について」説明)
- 委員長 質疑・意見等を求める。
(質疑・意見等なし)
- 委員長 「報告第15号 八代市議会平成26年9月定例会一般質問要旨及び答弁について」
- 教育部長 「報告第15号 八代市議会平成26年9月定例会一般質問要旨及び答弁について」説明)

- 委員長 質疑・意見等を求める。
- 倉野委員 20ページの「小中一貫連携教育」の一番下に、連携教育では、「先生をつなぐ」「子どもをつなぐ」「地域をつなぐ」という言葉が並んでいるが、「先生をつなぐ」については具体的にどのような効果があったと考えているか。また、23ページの下から8行目に、「中学生は小学生をリードすることで、自己有用感が高まり」とあるが、子ども達の責任感が非常に増してくる、というような言葉を入れた方がいいと思う。
- 教育部首席審議員
兼学校教育課長 小学校や中学校だけしか経験していない先生は、小学校でいい子だったのに、なぜ、中学校に行ったらああなるのかとか、逆に、もう少し小学校できちんと指導してくれとか、お互いがマイナス面をとらえていた。しかし、小中学校の先生が、同じ場所で同じ研修をし、校区の課題は何かを話し合い、小学校から中学校に上がることにはいろんな不安感があり、生活指導面でも差があることについてを見直し、初めて互いに歩み寄って、9年間で校区の子ども達を育てていかなければならないと理解されたところが一番の効果だと思う。
- 倉野委員 小中一貫教育は、子ども達自身の成長よりも、それぞれの教師が互いを理解し、プラス面を高める絶好の機会だと思うので、さらに力を入れていただきたい。
- 教育部首席審議員
兼学校教育課長 相互乗り入れ授業等により互いの理解を深め、研修等も行い、教師力を高めたい。
- 委員長 「連絡事項」
- 事務局 ・10月定例会の開催予定について
10月16日（木）午後3時
- 委員長 「澤村委員退任のご挨拶」
- 澤村委員 ・教育委員退任に伴う挨拶
- 委員長 「閉会宣言」
(午前11時16分閉会)